

# 2020年3月期 決算概要

2020年5月22日



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165 東証第一部)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

## ■2020年3月期 決算概要

## 2020年3月期 決算ハイライト

大幅な減収減益、特別損失等もあり、上場来初の最終赤字

売上	連結	連結売上高は、前期比86.4%、55億円減の353億円。
	日本	前期比86.8%の145億円。 自動車関連、電子部品・半導体関連需要の低迷が継続。
	中国	前期比84.6%の168億円。 自動車関連、電子部品・半導体関連需要の低迷が継続。
	東南アジア	前期比91.9%の15億円。 ベトナム、インドネシアは前年横ばいだが、これを除く東南アジアが低調。
	欧米他	前期比93.1%の24億円。 引き続き米州は堅調に推移したものの、欧州での受注減。
利益	営業利益は前期比32.4%の8億35百万円 経常利益は前期比28.0%の7億12百万円 当期純損失は34億85百万円(前期は当期純利益9億60百万円)	
ネット資金	減収となったが運転資金削減等により、期首から4億34百万円増加。	

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

1

### ■ 2020年3月期の決算ハイライト

#### ■ 前年度半ばより始まった米中貿易摩擦が長期化、深刻化

日本・中国ともに、自動車関連、電子部品・半導体関連の需要を中心に、ほぼ全ての業種において受注の低迷が継続し、全体的に売上高が減少

東南アジア地域では、ベトナム、インドネシアは前年比横ばいも、それ以外の国においては、おしなべて低調

欧米地域では米国がわずかに伸長したものの、欧州は受注の減少が続いており、大幅な減収

■ 利益面は、グループ全体で経費削減に取組み、販売費及び一般管理費は前期よりも減少したものの、受注減少に伴う工場の操業状況悪化による原価率の上昇等により、大幅な減益

■ 第3四半期に国内2工場において減損損失を計上したことに加え、第4四半期にはマレーシアパンチに係るのれん及び無形資産やベトナム工場の固定資産においても減損損失を計上し、上場来初の最終赤字

## 損益計算書サマリー

(単位:百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		前期差	前期比
売上高		40,935		35,348	▲ 5,587	86.4%
営業利益	6.3%	2,578	2.4%	835	▲ 1,743	32.4%
経常利益	6.2%	2,547	2.0%	712	▲ 1,834	28.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益(損失)	2.3%	960	-	▲3,485	▲ 4,446	-

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

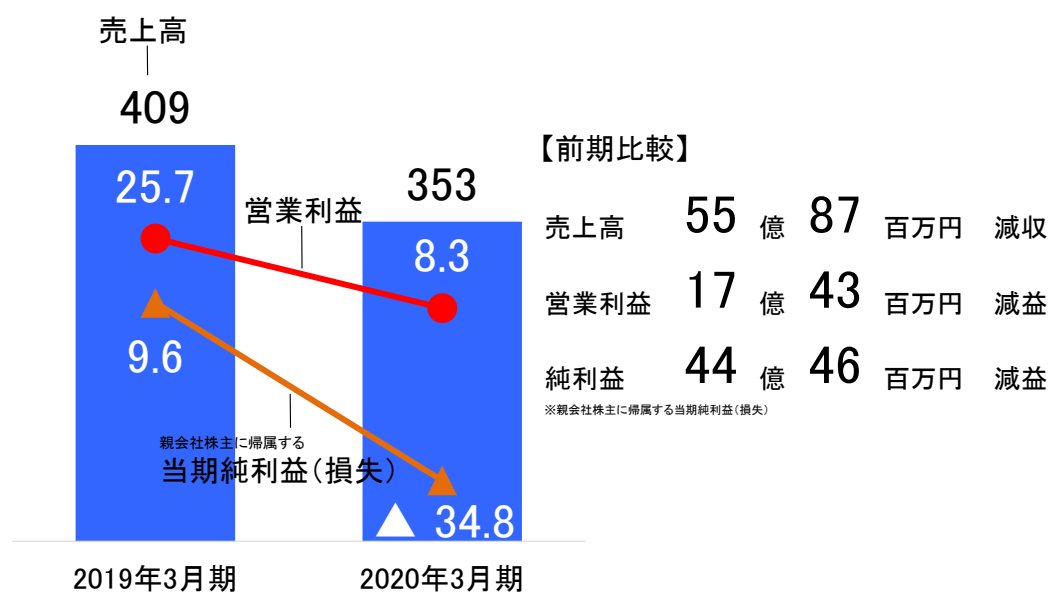
2

### ■決算数値の概要

■売上高は353億48百万円で、前期比86.4%、55億87百万円の減収  
 営業利益は8億35百万円、  
 経常利益は7億12百万円、  
 減損損失を計上したこともあり親会社株主に帰属する当期純利益は34億85百万円の  
 損失

## 売上高と営業利益

(単位:億円)



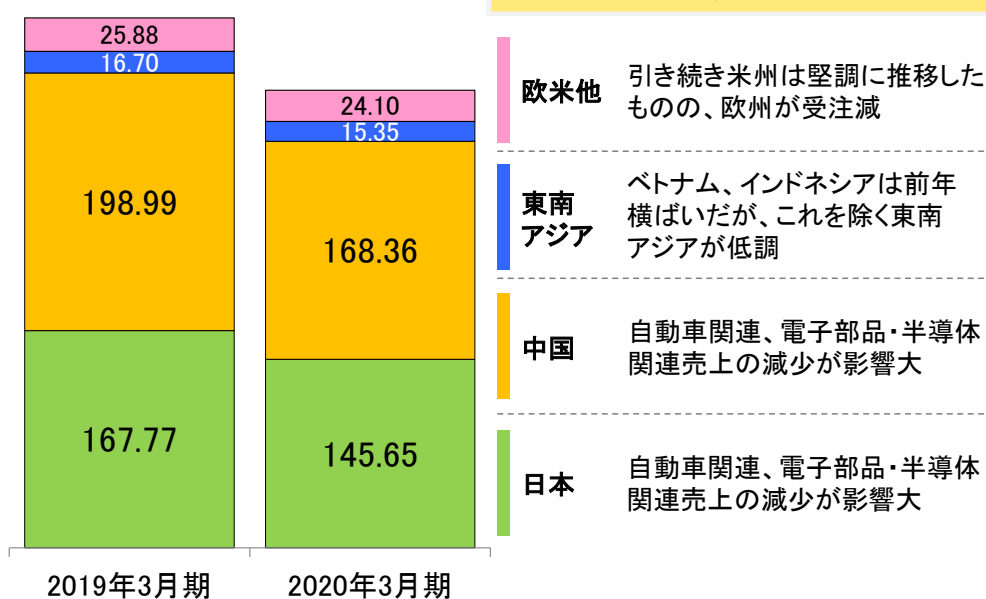
### ■ 2019年3月期と2020年3月期の売上高・利益比較

### ■ 売上高の低迷により、利益面も大幅に減少

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 地域別売上高

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

4

### ■地域別の売上高

#### ■全ての地域で売上高が減少

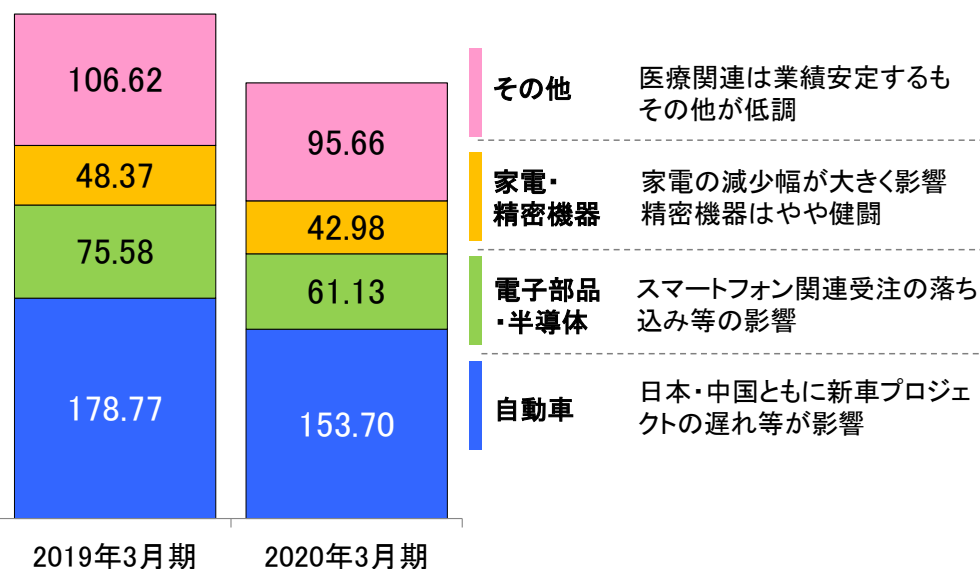
日本は減収22億円、中国は減収30億円と、事業の柱となる地域での減収が全体の売上高を押し下げた

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 業種別売上高

(単位:億円)

全ての業種において減収



- その他** 医療関連は業績安定するもその他が低調
- 家電・精密機器** 家電の減少幅が大きく影響  
精密機器はやや健闘
- 電子部品・半導体** スマートフォン関連受注の落ち込み等の影響
- 自動車** 日本・中国ともに新車プロジェクトの遅れ等が影響

PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

5

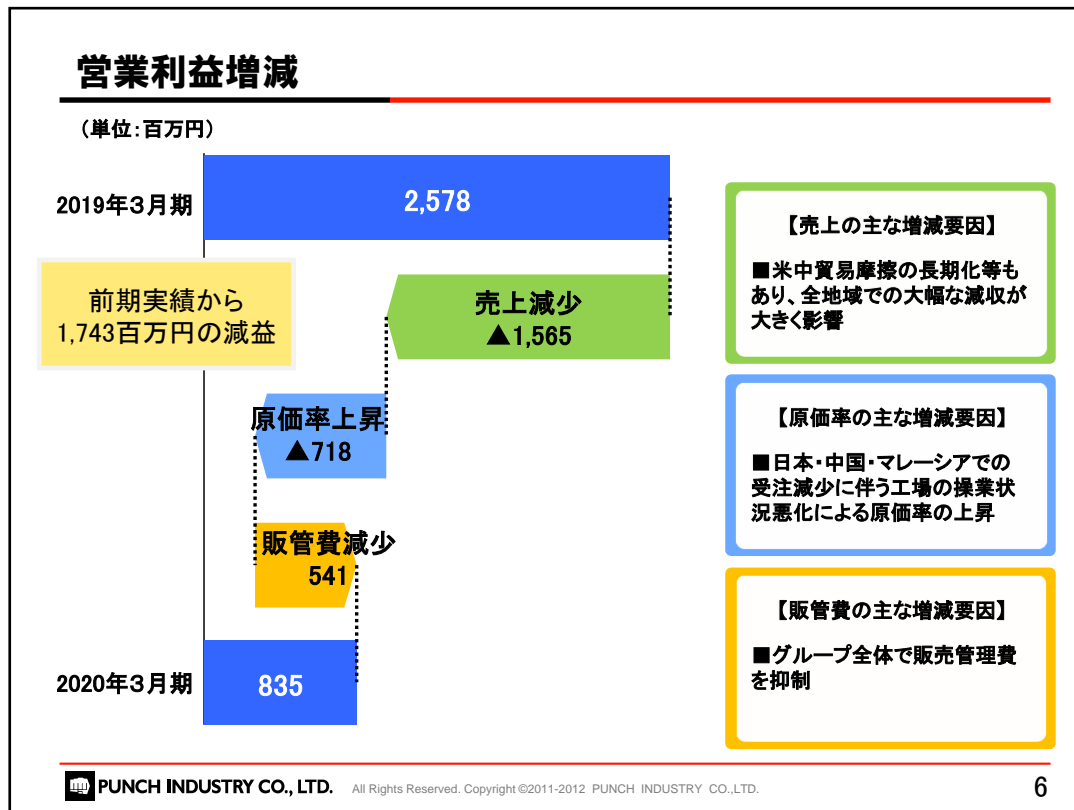
### ■業種別の売上高

#### ■全ての業種において減収

売上に占める比率の最も高い自動車が大幅な減収となった点が、他の業種に対しても大きく影響

自動車に次ぐ比率を占める電子部品・半導体関連は、低調なスマートフォン市場等の影響で2割近く減少

※四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載



### ■ 営業利益の増減分析

■ 前期実績の25億78百万円から、売上減少の影響により15億65百万円、原価率の上昇により7億18百万円と、2つの要因で大幅な利益減少

一方で、販管費は5億41百万円削減したが、売上と原価率を起因とする減益要因をカバーすることは出来ず

■ 結果、2020年3月期の実績は、8億35百万円  
前期に対し、17億43百万円の減益

## 海外2工場の減損について



### ■マレーシア工場

・主たる製造品：プラスチック金型用部品（超硬）

#### 固定資産の減損内訳

のれん	263百万円
無形固定資産	149百万円
マレーシア工場 計	413百万円



### ■ベトナム工場

・主たる製造品：プレス金型用部品

#### 固定資産の減損内訳

建物	100百万円
有形固定資産	630百万円
無形固定資産	15百万円
ベトナム工場 計	747百万円

## ■特別損失を計上した海外2工場の内容

### ■マレーシア工場

昨今の市況低迷により業績が悪化したことに加えて、足下では新型コロナウイルス感染拡大の影響により、その事業活動を一時休止したことから、将来収益に関する不透明感が高まったため、2013年8月の買収の際に生じたのれん及び無形資産を減損処理し、4億13百万円を特別損失として計上

### ■ベトナム工場

足下の情勢による生産量の減少が今後も継続すると見込まれることから、建屋、生産設備等の固定資産を減損処理し、7億47百万円を特別損失として計上



## 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2019年3月期末	2020年3月期末	比較増減
総資産	31,155	25,576	▲5,578
総負債	15,420	13,829	▲1,591
うち有利子負債	7,079	6,455	▲624
純資産	15,734	11,747	▲3,986
ネット資金	▲3,499	▲3,065	434
自己資本比率	50.4%	45.8%	▲4.6pt
自己資本利益率(ROE)	6.0%	-	-
設備投資額(無形固定資産含む)	2,989	2,011	▲977
減価償却費(無形固定資産含む)	1,729	1,658	▲71

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

8

### ■貸借対照表サマリー

■総資産は、売上高の減少に伴う売掛債権の減少や、固定資産の減損等により、55億78百万円の減少

■総負債は、借入金の返済により15億91千万円圧縮

■純資産は、当期純損失となった影響などにより、39億86百万円の減少

■上記の結果から自己資本比率は前期末より4.6pt下がり、45.8%

■ネット資金は、業績が悪化する中であって、売掛債権の回収等、運転資金の削減に取り組んだ結果、4億34百万円改善

■設備投資額は、前期を9億77百万円下回る、20億11百万円

## キャッシュ・フローサマリー

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,185	2,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,253	▲1,788
フリーキャッシュ・フロー	▲68	701
財務活動によるキャッシュ・フロー	74	▲772
現金及び現金同等物の増減額(換算差額含む)	▲172	▲150
現金及び現金同等物の期末残高	3,516	3,366

### ■ キャッシュフローの状況

#### ■ 営業CFは24億90百万円の収入

前期と比較して、営業利益の減少17億円の影響により、大幅に減少したが、売上債権や棚卸資産等、運転資金の削減に取り組んだことで、前年からの減少を7億円程度に抑制

#### ■ 投資CFは17億88百万円の支出

前期に対して大幅に設備投資を抑制したため、14億円の改善

#### ■ フリーキャッシュフローは7億1百万円のプラス

前期よりも7億69百万円の改善

損益面では非常に厳しい決算だが、資金面では前期から改善

## 2021年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2020年3月期 (実績)		2021年3月期 (予想)		前期差	前期比
売上高	35,348		33,100		▲ 2,249	93.6%
営業利益	2.4%	835	3.6%	1,200	364	143.6%
経常利益	2.0%	712	3.3%	1,100	387	154.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	- ▲3,485		1.9% 620		4,106	-
自己資本利益率 (ROE)	-		5.0%		-	-

2021年3月期  
配当予想

2円 = 中間 0円 + 期末 2円

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

10

### ■2021年3月期の業績及び配当の予想

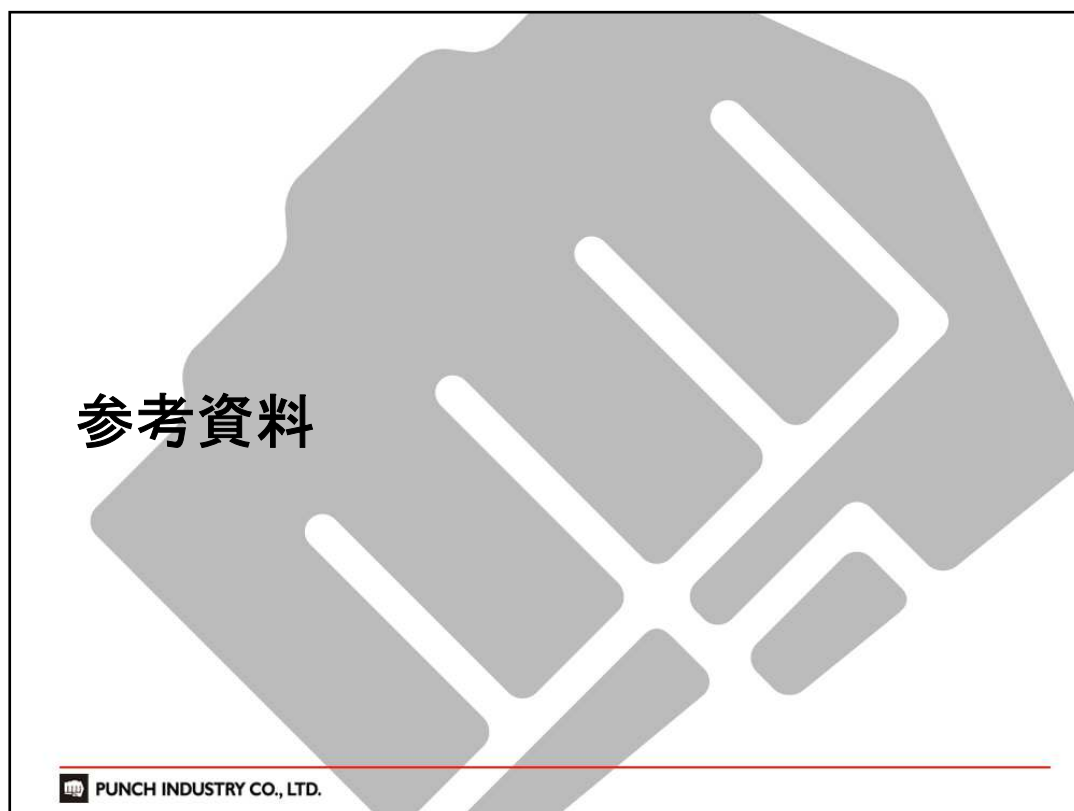
■米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルス(以下、「コロナ」)感染拡大は、国内外の経済に甚大な被害を与えることが確実視されているものの、収束する見通しが立っていないことから、先行きの見通しが困難な状況が続く

■2016年4月スタートの中期経営計画「バリュークリエーション2020」(以下、「VC2020」)において、「販売5極体制の確立」「お客様サービスの向上」「高収益事業の推進とR&D強化」及び「働き方改革」の4つを重点経営課題として定め、これらに取り組んできたが、米中貿易摩擦の長期化やコロナ感染拡大等による業績悪化もあり、計画の修正を検討した結果、「VC2020」の最終年度である2020年度から2021年度の2カ年を計画期間とする中期経営計画「バリュークリエーション2020Plus(プラス)」(以下、「VC2020Plus」)を経営の立て直し計画として策定

■2021年3月期は、新中期経営計画「VC2020Plus」の初年度として、前中期経営計画「VC2020」から引き継ぎ深化させた4つの重点経営課題、「販売5極体制の確立」「営業力の強化」「グローバル生産体制の最適化とR&D強化」「働き方改革と人材育成」に取り組む

■しかしながら、海外事業を含む当社グループ全体の市場環境は今後厳しさを増すと予想しており、連結業績見通しについては、コロナ感染拡大にともなう影響等が9月末まで継続することを前提として、大幅な減収を予想する一方、営業利益は、前期の固定資産減損による償却負担軽減に加え、大幅な経費削減に取り組むことで、増益を確保出来る見通し

■また、前期は最終赤字となったものの、本業による業績、営業利益、経常利益は黒字が確保出来ていること、そして財政状態には大きな変動が生じていないことから、期末配当予想を1株につき2円としており、2021年3月期もこの配当を維持



◇各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

◆決算短信

<http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

◆決算説明資料

<http://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>

◆IRニュース一覧

<http://www.punch.co.jp/ir/2020/>

# 会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,020名(グループ連結、2020年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)

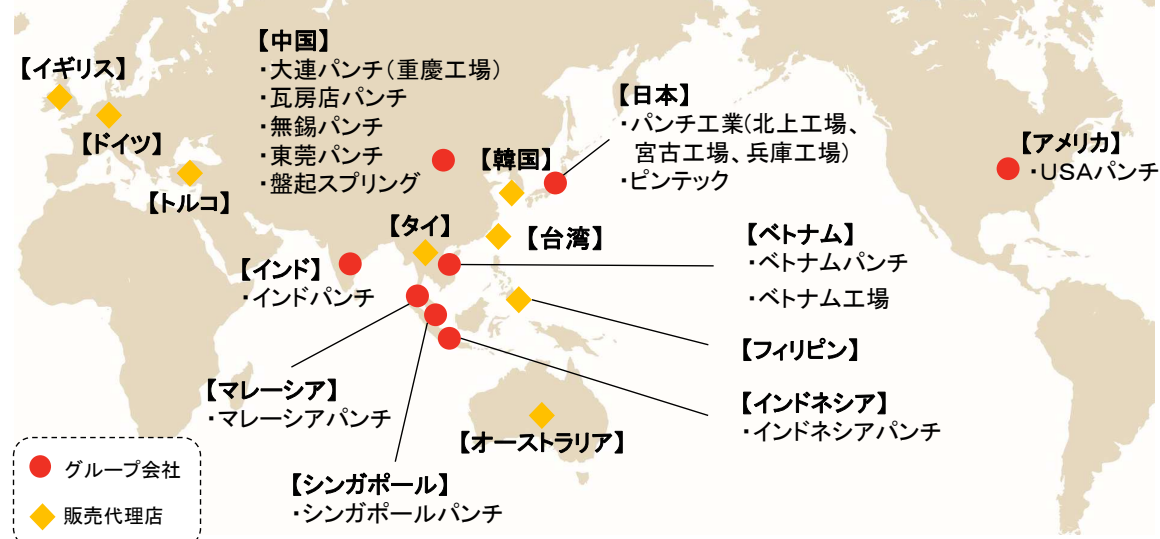
# パンチグループのネットワーク

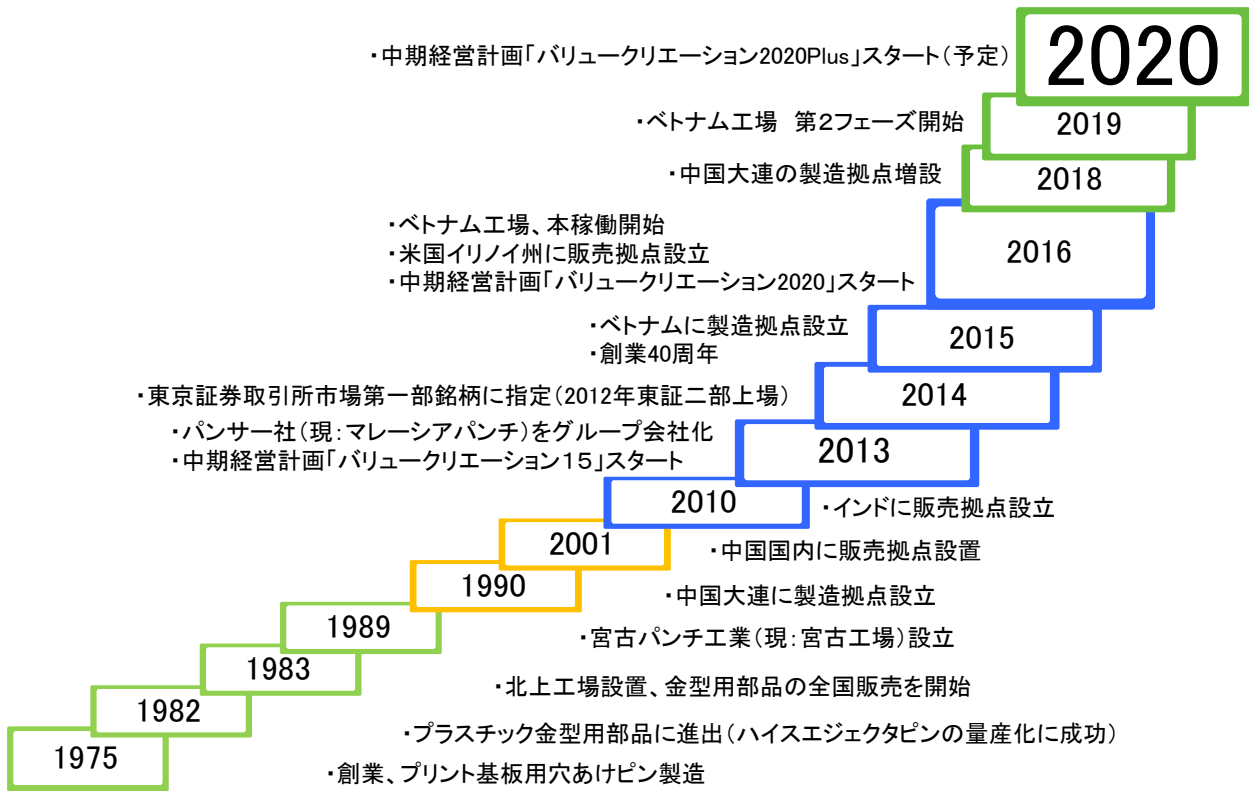
生産拠点数

日本	海外
4	8
カ所	カ所

販売拠点数

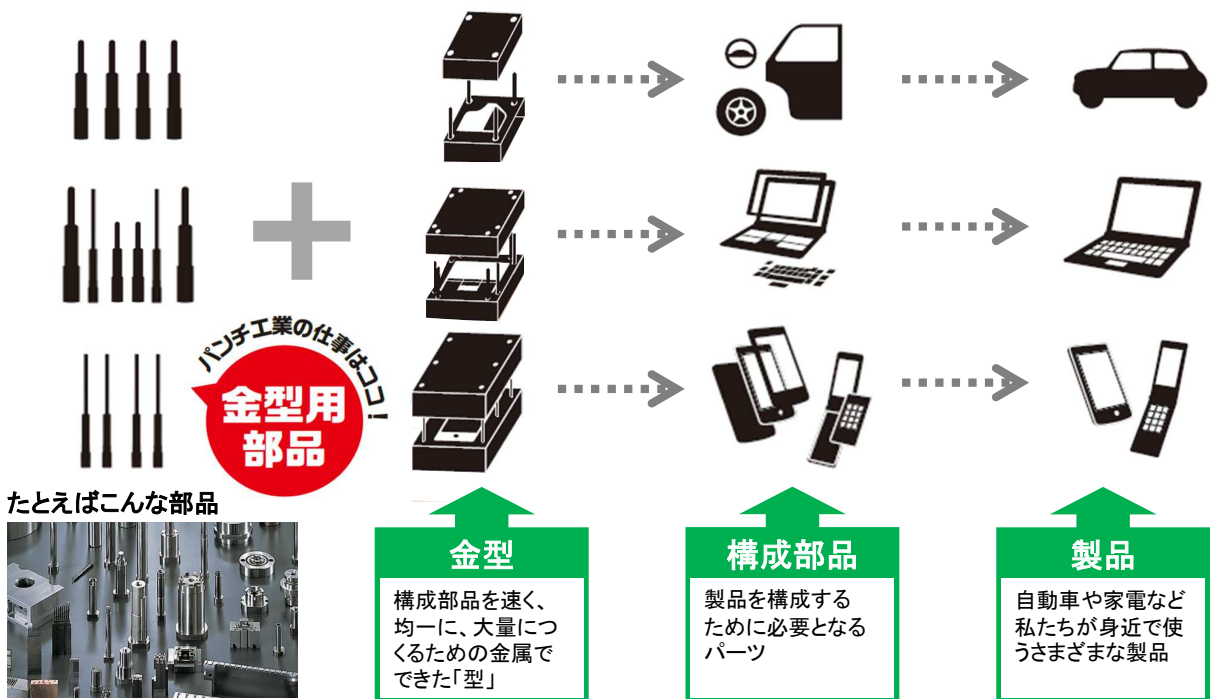
日本	海外
11	40
カ所	カ所



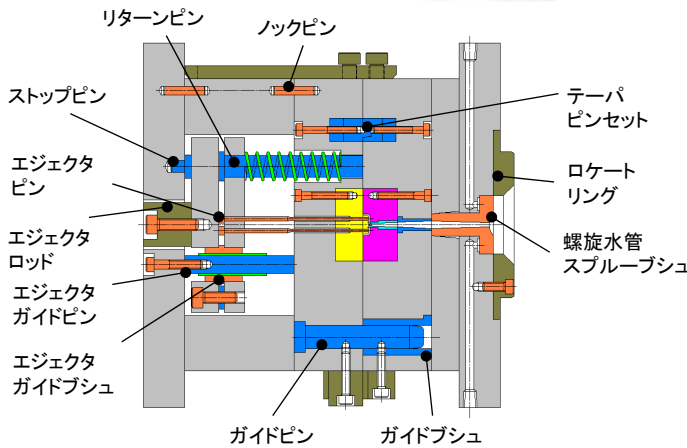
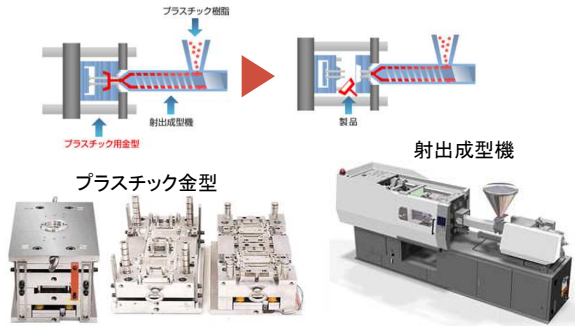


## 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



# プラスチック金型と金型用部品



## ●プラスチック金型用部品について

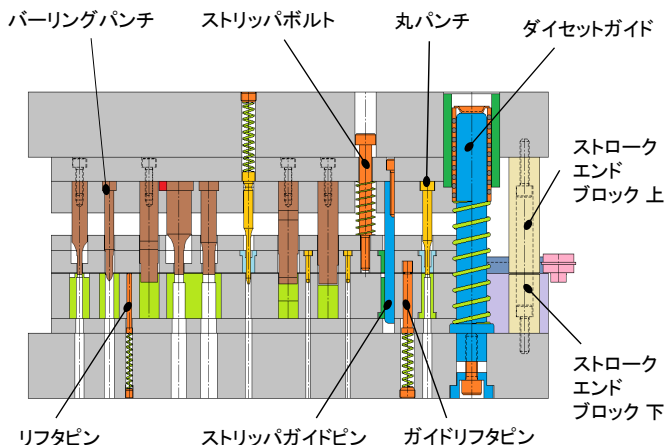
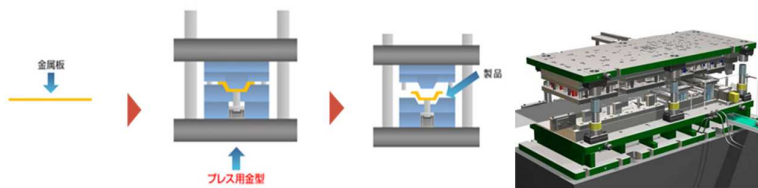
プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

**エジェクタピン...** 成型品を金型から離し、突き出すための部品

**スプルーブシュ...** 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

# プレス金型と金型用部品



## ●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の中に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。



当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

**パンチ.....** パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品

**ダイセットガイド...** 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

# パンチグループの強み


お客様に高い満足度を提供

**カタログ品**

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

タイムリーで的確なソリューション



**特注品**

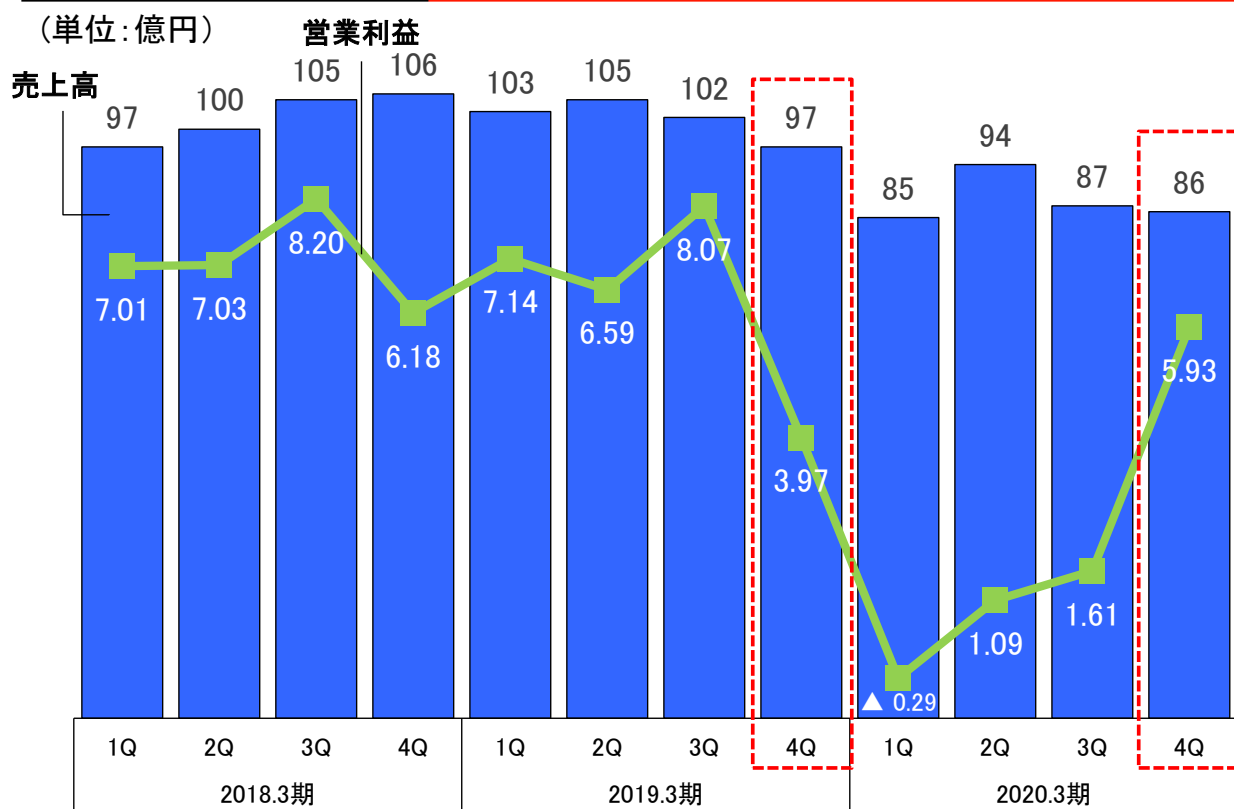
カスタムニーズにも柔軟に対応

**一気通貫の生産体制**  
2,000台以上の設備で幅広い対応力

**お客様密着型の営業体制**  
きめ細かな対応・提案力

**高い技術力**  
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

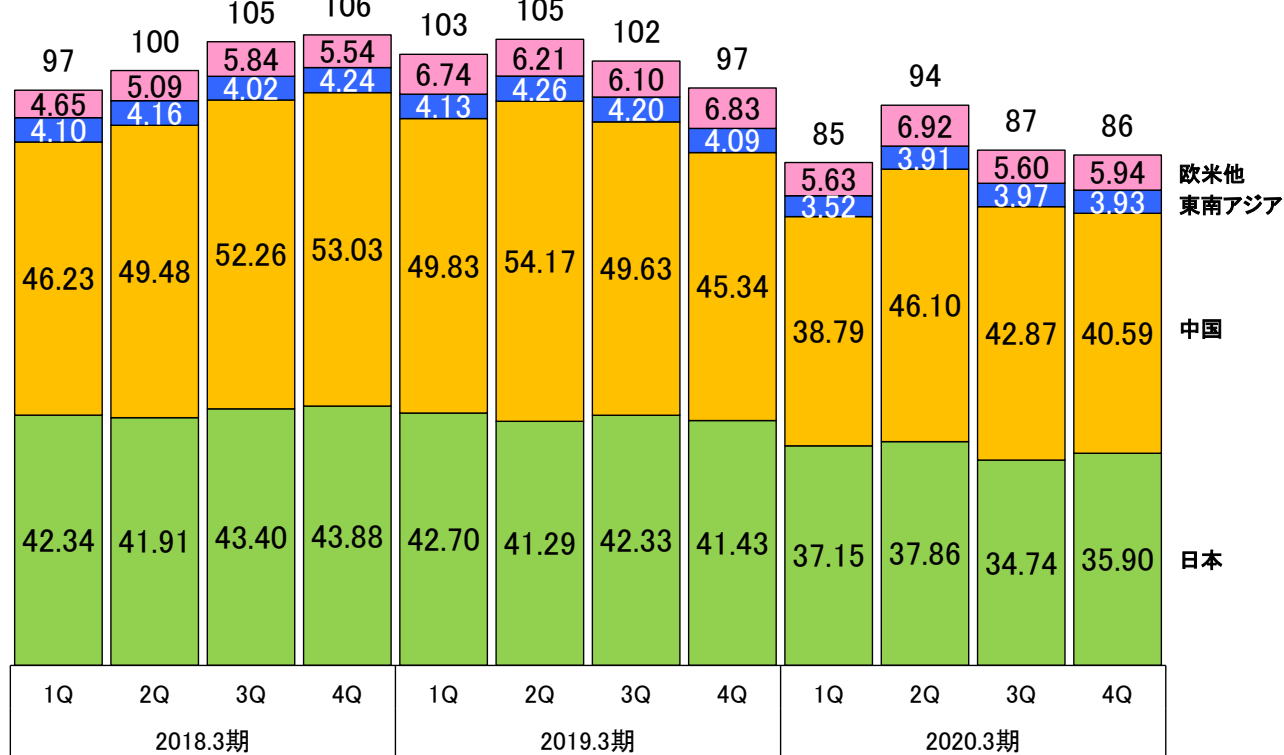
## 売上高と営業利益の推移





## 地域別売上高

(単位:億円)



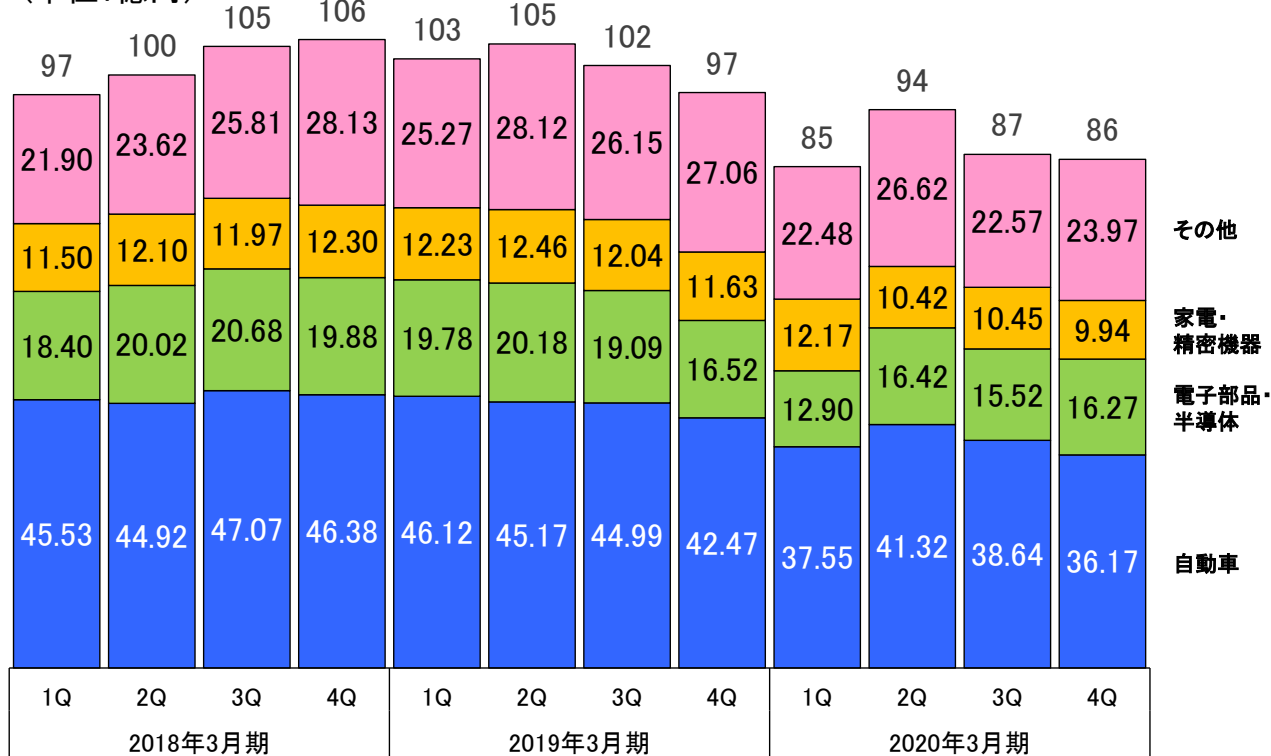
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

20

## 業種別売上高

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

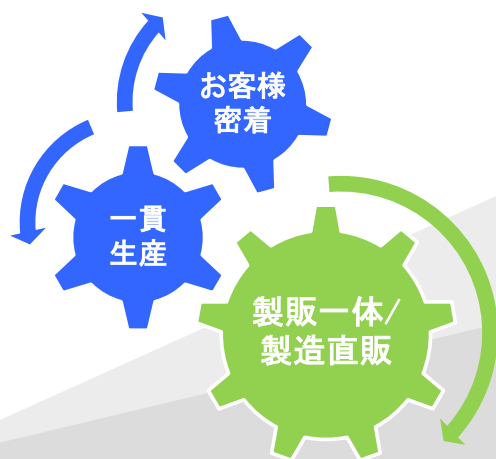
21

# CSR経営と企業ビジョン

## CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために  
CSR経営を実行しています。

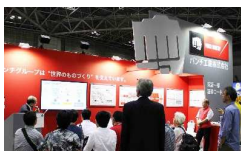
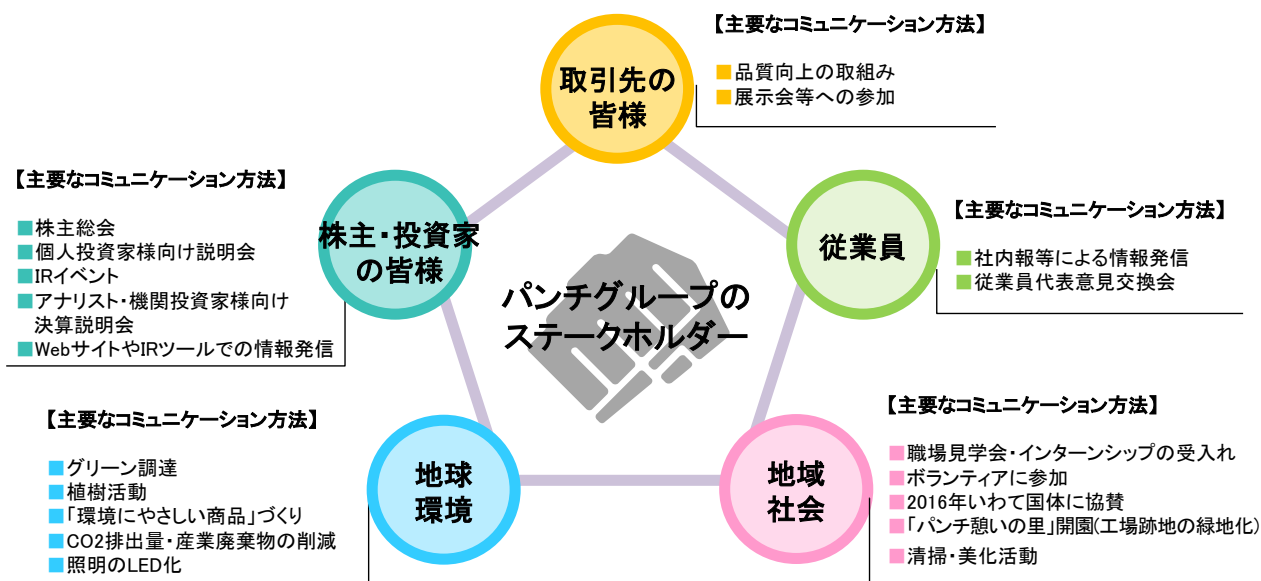
## 企業ビジョン



## 世界のパンチへ

金型部品業界での  
トップブランドを確立し  
製販一体企業としての  
優位性を活かした  
高収益企業を目指す

# ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園  
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動  
(2016年いわて国体)



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail: info-corp@punch.co.jp

**【将来見通し等に関する注意事項】**

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。  
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。  
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。